

平成30年度 算数科授業の略案 (2学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
7月2日 (3校時)	3けたの数	100より大きい数をしらべよう
本時のねらい (11/13時) ○数や式の大小, 相等関係を不等号, 等号を用いて式に表すことができる。		
評価規準 <b>技</b> 数や式の大小, 相等関係を不等号, 等号を用いて式に表すことができる。		
学習過程	学習活動 (○発問 ・児童の活動)	留意事項・ <b>評価</b>
<b>【導入】</b> <b>10:20</b>	○前の時間のまとめ, 振り返りを隣の人と話し合ってください。 ・2つの数を見て, どちらが大きいか比べました。 ・新しい記号を知って, 使うことができました。	・ノートや学習掲示を見るよう促すことで, 前時の振り返りをしやすくする。
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>10:22</b>	1 P. 61の問題を提示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         ひろしさんは150円もっています。80円のジュースとおかしを買います。                          どのおかしがかえますか。たし算をしてかんがえましょう。                          (ガム50円, キャラメル100円, チョコレート70円)                     </div> ① 150円持っている。80円のジュースとお菓子を買う。 ② どのお菓子が買えるか。 ○どのお菓子が買えそうですか。理由も合わせて答えましょう。 ・ガムとジュース… $80+50=130$ 円で, 持っているお金で足りるからです。 ・チョコとジュース… $70+80=150$ 円で, 持っているお金と同じだからです。 ③ 昨日学習した記号が使いそうです。 ④ 昨日は数だけだったけど, 今日は式にもその記号を使いそうです。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         数としきの大きさのあらかたをかかんがえ, せつめいしよう。                     </div>	・問題についている挿し絵を合わせて示すことで, 児童が問題場面を想像しやすくする。
課題把握 <b>10:27</b>	・不等号や等号, 言葉を用いて, 150と式との大きさを比べて表し, 説明することを確認する。 (一人学び・ペア合わせて8分, 全体10分, まとめ2分, 振り返り8分) 「記号や言葉を使って説明する。」 (数, 式, $<$ , $>$ , $=$ , ~より小さい, ~より大きい, ~と大きさが同じ)	
解決活動 <b>10:32</b>	3 自力解決を行う。 ○自分の考えを, 記号や言葉を使ってノートに書きましょう。 ○書けた人からペアで話し合ひましょう。 4 考えを全体で話し合う。 ○考えたことを発表しましょう。 ・ $80+50=130$ で, $150>130$ なので, $150>80+50$ です。 ・ $80+70=150$ なので, チョコレートとジュースは買えます。 ・ $80+100=180$ で, $150<180$ なので, $150<80+100$ です。 ・数どうしだけでなく数と式の大きさも, 記号を使って表せました。	・式と数とを不等号で繋げない児童には, 前時の授業で行った数と数とを繋げることからやってみよう促す。 ・図や言葉を用いて説明できている児童にはホワイトボードを渡して書くようにすることで, 他の児童とも共有できるようにする。
・考察 <b>10:50</b>	5 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                         数としきの大きさをあらかたするとき, 数と数のときと同じように, <math>&lt;</math>, <math>&gt;</math>, <math>=</math>をつかってあらかたをすることができます。                     </div>	
<b>【終末】</b> 振り返り <b>10:57</b>	5 学習したことを振り返る。 ・数と数だけでなく, 式と数も大きさを比べられることが分かりました。	
適用問題 <b>11:00</b> <b>11:05</b>	6 適用問題に取り組む。 ・P. 61	<b>技</b> 数や式の大小, 相等関係を不等号, 等号を用いて式に表すことができる。(ノート, 発言)